

一般質問

12月定例会の一般質問は、10日及び11日に行われました。この2日間で、14人の議員が登壇し、市政全般について、20項目にわたり、質問を行いました。

質問項目一覧(通告順)

◆ 中原智昭 議員

- ① 来年4月の統一地方選挙における市長の考え方について
- ② 今後の教育行政のさらなる躍進について

◆ 米丸貴浩 議員

- ① 春日市障がい福祉計画と障がいのある方の社会参加の促進について

◆ 松尾徳晴 議員

- ① 春日市の教育行政について

◆ 迫 賢二 議員

- ① 小中学校のクーラー設置について
- ② 15年子育てサポートについて

◆ 白水勝己 議員

- ① 防犯カメラ設置及び見守りカメラ設置について
- ② 歩道の改良及びバリアフリー化について

◆ 前田俊雄 議員

- ① 県道における自転車の安全利用環境の整備に関する県への働きかけについて
- ② ながらスマホ等への対策について

◆ 坂本靖男 議員

- ① 地区公民館施設について

◆ 榊 朋之 議員

- ① 防犯対策について
- ② 河川の名称について

◆ 與國 洋 議員

- ① 教育施策の分析と今後の施策への反映について

◆ 高橋裕子 議員

- ① 情報通信技術の利活用について

◆ 近藤幸恵 議員

- ① 男女共同参画社会の実現について

◆ 岩切幹嘉 議員

- ① 今後の「空き家対策」の取り組みについて

◆ 野口明美 議員

- ① 市民の健康支援について
- ② 子育て支援について

◆ 村山正美 議員

- ① 執行姿勢について

※全文は市議会ホームページの会議録に掲載しています。

※原稿は、質問者本人の執筆によるものです。

4月の統一地方選挙における市長の出馬の意向は

なかはら ともあき
中原 智昭 議員



問 次期市長選挙における井上市長の考え方と、今後の市政運営の抱負は。

答 いまだまちづくりの道半ばではあるが、一定の成果や方向性を見出すことはできたと確信している。また、将来に責任を持つ市政の推進と、持続的な市政の発展の視点から、次期市長選に出馬の意向を明らかにし、引き続き、住み良さを追求した街づくりに、積極果敢に取り組んでいきたい。

小中学校トイレの早期改修を

問 現在の小中学校のトイレは、「暗い・汚い・臭い」の3Kで、学校でトイレを我慢する子どもたちも増加している。健康面から考えても、早期に改修工事に着手するべきでは。

答 学校のトイレは、かなりの年数を経過し、学校からも施設環境の改善要望も上がっている。また、トイレのあり方については子どもたちの心理にある利用しづらさ等の衛生面と、トイレを我慢することの健康への影響面での提言だと考え、学校では規則正しい生活習慣を身につけるように指導を行い、



※写真はイメージです

家庭でも排泄の大切さを、話し合っていたら、協働で支えていく必要があると考えます。教育委員会としても意見を可能な限り施設改修に生かしていきたい。

問 コミュニティ・スクールも10年がたち、教育委員会が考える最終目標は。

答 明確にお答えすることはできないが、今後は地域コミュニティにつなげていきたい。

障がい福祉計画と障がい者の社会参加促進のためには

米丸 貴浩 議員



問 国は第4期障害福祉計画の見直しに際し「地域生活支援拠点等の整備」を新たに基本指針としているが、第4期春日市障がい福祉計画に、地域生活支援拠点整備の推進を明記しこれを促進する必要があると考えるが。

答 市内の社会資源が住民ニーズに添えられていない現状は十分に承知している。国が、拠点となるグループホーム等の新設時に、社会福祉施設整備費による補助を優先的に採択することは施設整備推進上、大いに期待する。生活支援拠点整備の推進は春日市障害者福祉長期行動計画検討協議会の意見を伺い、しっかりと検討していく。

問 平成25年9月の一般質問にて、庁舎内スロープの課題についてお尋ねしたが、その後の調査の進捗と検討結果は。

答 調査の結果、新たな踊り場の設置が可能である。県条例整備基準に準じた手すりや滑り止めの設置を含めたスロープの改修を今年度中に実施する。

問 同じく庁舎内の誘導表示、案内表示の改修は、その後どう進んだか。

答 庁舎1階の一部に誘導表示、案内表



障がい者用駐車スペース

示を追加した。1階フロアにある各階の業務案内にピクトグラムによるトイレ表示を追加する。1階の全体が分かるフロア案内図の設置は今後検討する。

問 障がい者用駐車スペースの改修提案に対する調査の進捗と検討結果は。

答 障がい者用駐車スペースの屋根の前方への張り出しは、大型車両の通行に支障のない改修が可能である。既に当初予算にて工事費を確保しており、今年度中に改修を実施する。

教育行政の発展・充実のための重点施策は

松尾 徳晴 議員



問 教職員を対象に市教育行政の発展・充実のため何を優先すべきか行ったアンケート調査結果から、どのような優先順で施策を行うのか。

答 教育の質の向上を目指して、現在の30人以下学級や不登校児童生徒の支援のため専任教員配備などの指導支援体制の充実につながる施策を進めている。

問 市はコミュニティ・スクールで自治会等と連携を密にしている。教職員以外からもアンケートや意見を聞く必要があるのではないか。

答 円滑な学校運営を行うには、学校運営協議会等の日常的に学校に関わっている方のいろいろな意見を聞くことは必要であると考えている。

問 学習内容が難しくなる小学校3年生に対しきめ細かな指導を行うため30人学級を取り入れてはどうか。

答 小学校3・4年生は、一般的に学校での学習生活に関わる基礎を身につける大切な学年であると認識している。

少人数学級の導入は一つの選択肢になると考えるが、人材確保・経費などの課題があり慎重に研究する必要がある



問 春日中学校で音楽会が実施された。児童・生徒が運営し自治会の子どもたちも参加し素晴らしい環境を整備してもらえないか。

答 今後、他の中学校ブロックにおいても特色ある多様なものが創意工夫されることを期待している。

子育てサポートと クーラー設置について

迫 賢二 議員



問 家庭教育力の弱体化の問題など、生まれてから義務教育が終了するまで、市が、しっかりサポートする体制づくりが今まで以上に必要と考える。学校教育部と健康福祉部の一部を統合し教育全般を一本化したかどうか。

答 組織の肥大化や業務量の不均衡化などの課題があり、全庁的な視点での検討が必要。今後、連携をより強化していく視点とし生かしてまいりたい。

クーラー設置について

問 特別支援教室へのクーラー設置は必要不可欠ではないか。

答 現在、小学校で4分の1、中学校で2分の1の教室に設置しており、今後も児童生徒の状況に応じ対応していく。

問 設置費用を分散するため、学年を絞って順に設置したらどうか。

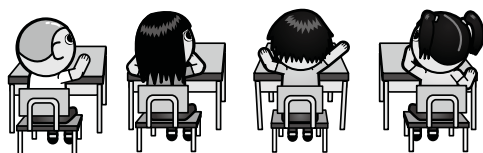
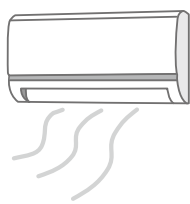
答 学校間で教育環境に差異が生じるという課題に対する貴重な提言である。設置を検討する際は参考とする。

問 理科の実験など、窓を閉める時がある専門的な学習を行う特別教室への設置についてはどうか。

答 整備すべき喫緊の必要性が発生した場合に対応することになっている。

問 災害時の避難所として、また、自治会や高齢者団体なども利用する小中学校の多目的ホールへの設置は、コミュニティ・スクールにおける有効活用の視点からどう考えるか。

答 普通教室10教室分以上に相当する規模であることから、整備費用の課題など、総合的な見地から優先順位を決めていく必要がある。



歩道の改良及び バリアフリー化について

白水 勝己 議員



平田台地区・春日地区・大和町地区などの一部で歩道改良及びバリアフリー化の実施、また塚原台地区では、平成25年6月議会の一般質問にて、道路問題・交差点問題・歩道のバリアフリー化問題などの将来構想計画の把握、協働による街づくりの推進を要望し、早速、歩道のバリアフリー化設計業務の予算化をしていただいた。

問 長年の年月にて街路樹が成長し、根がアスファルトを押し上げている歩道の改良及びバリアフリー化の現状と今後の方針について。

答 現在は、歩道のバリアフリー化を街路樹がない道路で進めており、利用者から大変好評をいただいている。市内の道路には、街路樹の根により歩道のアスファルト舗装が盛り上がりつつある箇所があり、根を一部撤去しアスファルト舗装を補修する応急的な対応で歩行者等の安全を確保している。

しかしながら、根本的な対応のためには、街路樹の植え替えも含む歩道の大幅な改良が必要であり、街路樹がある歩道の改良時には相当な費用を要す

ることから、バリアフリー化を含め整備効果を十分に検討する必要がある。

まずは街路樹の老木化も目立つ道路もあることから、健全度を確認する調査を行いたいと考えている。調査結果を踏まえ、今後、街路樹がある歩道の改良方針を検討する。

その他の質問項目

「防犯カメラ設置及び見守りカメラ設置について」



改良された歩道(2級3号路線)

自転車の安全利用環境の整備について

前田 俊雄 議員



問 自転車の安全利用環境の整備については、平成16年12月以来、繰り返し訴えているが、県道については、事業実施機関である県への働きかけを求めている。現在、県道那珂川宇美線、小倉工区の工事が急ピッチですすめられているが、県との協議内容、進捗についてお尋ねしたい。

答 県へは、歩行者と自転車の分離を図り、安全性を確保するため歩道部に青色着色を実施し、自転車通行帯を整備することを求めている。県道那珂川宇美線、小倉工区については、自転車歩行者道として整備される歩道に、普通自転車・歩行者通行可の規制をかけ、自転車通行帯に青色着色を行い、自転車通行区間を明示し、安全性の確保を図る方向で、県において、春日警察署との協議を行っている状況である。

ながらスマホ等対策について

問 ながらスマホ等とは、歩きながら又



は、自転車に乗りながらスマホ・携帯電話を操作することと言うが、近年、それに伴う事故が増加しているとの報道がなされている。本市内での状況を見ると、ながらスマホの方を多く見かける。本市として安全対策の必要性を認識し、対策を講じているのか。

答 安全対策の必要性を認識し、特に自転車に乗りながらスマホ等の操作をしている方に対して啓発、指導を行っている。

地区公民館施設について

坂本 靖男 議員



問 これまでの本市の公民館施設大規模改修工事の進捗状況は。

答 平成24年度から大規模改修工事を実施。24年度は、日の出町、上白水、千歳町の3館、25年度は、春日原と春日原南の2館に実施した。26年度は、光町及び松ヶ丘の2館を工事中で、27年度は紅葉ヶ丘及び若葉台西の2館を改修する予定である。

問 今後の大規模改修実施計画の予定は。

答 建築年次の古いもので、かつ改修工事を行っていない公民館を優先し、順次、年2館程度改修の予定で、平成40年に終了する予定である。

問 14年かかることになるが市民が平等に利用できる環境を早く整備すべきで、館数を増やしても実施すべきでは。

答 財政事情を見ながら、早期の完了を目指したい。

問 バリアフリー化について、大規模改修時の解消状況と、今後の計画は。

答 福祉駐車場の整備やスロープ・手すりの設置、段差の解消、多目的トイレの設置などを行い、住民が使いやすい公民館になるよう取り組んでいるところ

ろである。今後も可能な限りバリアフリー化を進めていきたい。

問 バリアフリー化のためにはエレベーター設置が必要不可欠と考える。

答 試算の結果、財政的に多額の支出が見込まれ、事業を厳選せざるを得ない状況であることをご理解いただきたい。

要望 平成25年度の実質収支額は約8億9000万円、1館約1300万円として全館約4億5500万円。費用は捻出できると思うし、できる金額と思う。



改修後の千歳町公民館

北部地区交番設置へ向けての活動を

さかき
ともゆき
榊 朋之 議員



問 「春日警察署」の開設は市民にとって非常に有意義であり、このことにご尽力いただいた方々へ心から敬意と感謝を表する。加えて「安全安心課」も創設され防犯に対する機運は高まってきた。今後目指すべき防犯活動方針は。

答 第1に「地域への防犯体制の支援」、第2に「犯罪予防に関する積極的な情報提供」、第3に「警察との緊密な連携」を柱に進めていきたい。

問 犯罪も様々に多様化、複雑化している。「市報」だけでなく「春日市ホームページ」もさらに活用してはどうか。

答 各種犯罪の予防対策や、地域の防犯活動に活用できる制度、こういったものを紹介するページなどを掲載するため、現在準備を進めている。

問 素晴らしい活動であると思うので、いま一度「ついで隊」についても活動を整理してはどうか。

答 指摘の通り、改めて広報活動に力を入れ自主防犯活動の活性化を促していきたい。

問 北部地域の安全を考えれば「春日北中校区に交番があれば」は、地域住民の切なる願いである。県並びに県警へ働きかけてはいただけないか。

答 常々必要性を感じていた。そのため、本年10月に交番設置の要望書を春日警察署長宛に提出し活動を開始したところである。粘り強く働きかけていきたい。

その他の質問項目

「市民に親しんでもらえる河川へ」



少人数学級、不登校対策等教育施策の成果と分析結果は

みづ
たく
うみ
與國 洋 議員



問 小学校6学年の30人以下学級の編制が導入されて7年、成果は。

答 教員からは「きめ細かな指導ができるようになった」、子供たちが落ち着いた、また保護者からは「会話や関わりが多くなった」、家庭学習など丁寧に見てもらえる」など肯定意見が多い。

問 「きめ細かな指導ができるようになった」、会話や関わりが多くなった」などの変化に伴う成果の分析は。

答 有効な成果分析の手法を模索中、子供の内面的な変化を検証できるアンケートの実施とともに、提案（学力分布の状況や変化、学力の二極化の実態の分析など）を受けた手法も視野に入れた有効な成果分析手法を研究していく。

問 スクールソーシャルワーカー、不登校専任教員が配置されているが、これらの活動による不登校等の改善成果は。

答 小中学校とも不登校の出現率は現在でも国・県よりも高い水準にあるが、中学校においてはその差は徐々に縮まっている。一方、解消率は国・県と比較し上回っており、少しずつ取り組みの成果が出てきている。

問 不登校と小学校6学年の30人以下学級との関連は。

答 不登校の要因は様々であるが、これを誘発する要因の解消に少人数学級編制が関わっているとは言えない。

問 学力調査の平均回答率のみの公開ではなく、調査により得られた成果、課題の公表も必要では。

答 科目の平均正答率を公表し、説明責任を果たす。学力調査の課題や成果を公表することはない。



運動会の様子

マイナンバー制度の導入で どう変わる

高橋 裕子 議員



問 マイナンバー制度の導入で市民サービスはどう向上するのか。

答 1 利便性の向上。国や自治体間で情報の連携が可能となる。自治体は短時間のうちに個人情報の取得ができ、市民は各種手続きで住民票や所得証明等の添付書類が不要となる。

2 社会保障の給付と税の負担の公平化。国や地方自治体間の情報連携により個人の所得情報が正確に把握できることから、適正な給付が担保され、給付漏れや給付誤りなどの防止が期待できる。

問 個人情報の外部への漏えいや個人番号の不正利用等の心配はないのか。

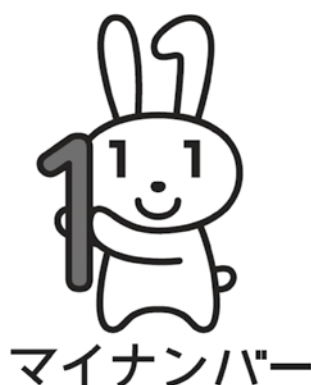
答 1 制度上の運用による保護。法令の規定により個人番号の利用範囲や情報連携範囲を規定し目的外利用の禁止。

2 情報システム上の安全対策①特定個人情報保護評価という手法で情報セキュリティの仕組みを検証する②特定個人情報保護委員会による監視・監督を受ける③国や自治体間で個人番号使用時に解読が困難となるよう暗号化し通信④マイポータルというシステムを

構築。市民自身が自分の情報をいつでもどこで利用されたかアクセス記録を確認することが可能となる。

問 申請主義制度とは社会福祉の利用要件を有する人が申請手続きをして初めて利用できるというものだがマイナンバー制度でこれがどう変わるのか。

答 マイポータルの機能の中に市から個人に対し年齢や家族構成、所得等の要件に応じサービス通知する機能がある。マイナンバー制度の導入にあわせてこの機能の活用についても検討する。



マイナンバーキャラクター マイナちゃん

男女共同参画社会の実現について

近藤 幸恵 議員



アベノミクスの三本の矢は成長戦略の中核として女性の活躍推進をうたっている。本市においても条例制定とともにセンターを設け積極的に男女共同参画社会の実現に取り組んでいる。

問 育児休業に対し実施している事業所は総合評価方式入札業務において評価を、次代の要請として求めているが。

答 26年度から地域貢献度評価項目を新たに設け、就業規則に育児休業制度を規定している事業所は、加点する取り組みを始めた。

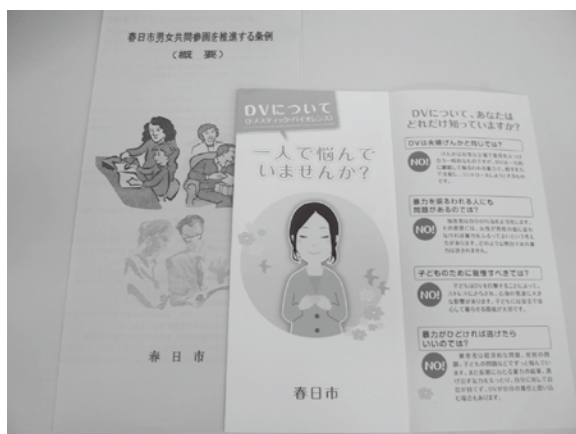
問 審議会の女性登用の目標は27年度までに40%だが、25年度は27・8%と県内25番目で、昨年度と比較し3番下がっており、取り組みが進んでいるとは言えない。ポジティブ・アクションの導入検討とあわせて見解を伺う。

答 女性委員の登用については、公募委員の公平公正な選出の確保など、課題は多いが、第2次プランの目標や指針達成に向け、引き続き、努力していく。また、今以上のポジティブ・アクションの導入は、附属機関等の役割や機能への影響、市民公募委員の選考過

程での説明責任等を慎重に見極める必要があるため、引き続き、総合的に検討していく。

問 近年、10代のデートDVが増え社会問題となり、10代から20代では交際相手からの暴力被害が10人に1人となっている。学校教育でのデートDV教育が必要と考えるが取り組みは。

答 リーフレットを中学3年生を対象に配付したが、学校教育の中で授業としては行っていない。



市作成のリーフレット

危険性のある空き家に対して 早急な対策を

岩切 幹嘉 議員
いわきり みきよし



危険性をはらんでいる空き家は景観上の問題だけでなくゴミの不法投棄や不審者の侵入、放火の要因となり、また、地震など災害時に避難や消防活動の妨げになる恐れもあるため、速やかに対処する必要がある。

国会において「空き家対策特別措置法」が可決され、自治体の積極的な関与が可能となった。

問 本市の状況について、どこまで把握し、また空き家に係る問題と取り組むべき課題や認識についてどう考えているか、そのためにも事前の調査が必要と思うがどうか。

答 問題が発生する可能性がある空き家は合わせて173件、72%が所有者の死亡や施設への入所等高齢化を伴うもので法律や条例の後ろ盾がなく、所有者にお願いするしかない現状であった。空き家対策特別措置法の施行により、固定資産税の情報活用を可能とし、確実な連絡先の確認ができることで、適正な管理を求めることができる。また、さらなる調査と分析を行っていくことが必要と考える。



問 問題のある空き家に対して、解体費用を助成している自治体もあるが、このような有効的な条例制定の考え方について。

答 今後は、所有者等に対する指導、勧告、命令や行政代執行の方法による強制執行が可能と規定されるこの法律に基づき空き家対策を講じていく方向であり、当面、条例の制定は考えていない。

こども医療費の通院・入院ともに さらなる年齢の拡充を

野口 明美 議員
のぐち あけみ



問 こども医療費の助成制度において、全国的に年齢の引き上げが増えつつある。通院・入院ともにさらなる年齢の拡充を要望するが見解は。

答 まずは、緊急性、重篤性が高く、そして、子育て世代の負担感がより大きい入院医療対象者の年齢拡大を優先課題として検討することとしている。

市民の健康支援について

問 市民の健康づくり活動をポイント化し、決められたポイントに応じて還元できるような取り組みをしてはどうか。

答 他団体の、今後の効果などを見極めながら、研究をしていきたい。

問 グラウンドゴルフやゲートボールの既存のコート数は、スポーツ人口に対して、どのように捉えているのか。

答 不便をかけている点はあるが、おおむね充足している。現状を踏まえ、スポーツを通じた高齢者の健康づくりを引き続き支援する考えである。

問 白水ヶ丘東公園用地は、いまだ6年間未整備のままである。災害時の避難場所、地域の憩いの場、健康促進の場

となるよう早く整備していただきたいが、今後の方針は。

答 公園として整備する予定だが、今のところ具体的整備計画は定まっていない。埋め立てによる財産交換で取得した土地は、公園用地との間に高低差があるため、その利用方法についての検討をしているところである。今後は、地元の皆様の意向および利用される方のニーズを踏まえて、整備の方向性を検討したい。



市民の生の生きる市政を

村山 正美 議員



【問】日本共産党は「住民こそ主人公」の理念から、4年に1度の改選期に市民アンケートに取り組んでいる。

まだ、中間段階の集約だが、来年度の予算編成にも役立つものと確信しアンケートの中間報告をお示しする。

くらしの中で負担に感じるものは消費税、介護保険料・利用料、国民健康保険税、医療費、所得税、住民税の順になっている。

次に市政に望むことでは、下水道料金の引き下げ、生活道路の補修・整備、雇用・就労支援、防災・地震・治水対策、コミュニティバスの充実の順であった。

医療・福祉の分野では、介護保険料・利用料の引き下げ、後期高齢者保険料の引き下げ、国民健康保険税の引き下げ、介護施設の増設・充実、高齢者無料バスの給付制度の順であった。次に子育て支援で望むことは、いじめ・不登校対策、中学校卒業までの医療費無料化、保育料の負担軽減、学童保育の充実、全教室へのエアコン設置の順であった。



【答】春日市では人口も微増を続け、市民税も増加している。この状況を踏まえ、市民の望む市政の充実に努めるべきと考え、市長の見解をお伺いしたい。

【答】限られた予算の中から、真に必要な、あるいは優先すべき事業を選択し、健全財政を堅持しながら、市民の生命、生活の安全・安心を最優先に施策を展開してまいりたい。

市議会の評価

議会運営委員会

市議会では、春日市議会基本条例に基づき、定例会ごとに議案の審査結果、採決の結果、一般質問の実施状況等について、議会活動の評価を行います。

今回は、人事案件1件、条例案件8件、予算案件10件、その他の案件3件、報告案件5件、意見書2件、請願2件を審査しました。

1 議案の審査結果

①各委員長報告の内容から、委員会審査では多くの委員から質疑等が出され、十分な審査・議論されたことがうかがえた。

②議会改革特別委員会では、様々な意見が出され、全議員で集約を行い、納得のいく結論を出すことができた。

2 採決の結果

すべての議案が十分な議案審査のもと、可決、同意、承認された。

3 一般質問の実施状況

①今回の一般質問通告者は14人で、20項目もの多岐にわたる質問が出され、執行部と活発な議論が交わされた。一般質問での回数制の場合で、内容が理解しづらい点があり、時間がかかった。一般質問には時間制と回数

制とがあるが、今後、回数制にも時間制限を設けること等について議論が必要と考える。

②質問者が最後にこれで終わりますと宣告した後の執行部からの答弁は必要ないのでないかとの意見があった。

4 その他

①議場のマイク設備改修により、音声聞き取りやすくなった。また、大型モニターを設置により、明るい雰囲気になった。

②農業・農協改革に関する意見書及びウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書は全員賛成で可決。

※一般質問の議会傍聴者は2日間で20人でした。詳細は市議会ホームページに掲載していますのでご覧ください。



議会棟前庭に咲くカンツバキ